

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	・聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めるなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして聞き続けることができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉え、話し手の意図や気持ちを把握し、聞くことができる。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	・英和辞典を正しく使いながら、300～400語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・教科書などの7語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。 ・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要となる基本的な文化的背景について理解する。 ・1年間に、サイドリーダーを5冊以上読む。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	・ 300～400 語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO 又は単語や語句、短い文で答えることができる。 ・ 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用して、英語で相手に伝えることができる。 ・ うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 ・ 自分の意見や考えを単に述べるだけでなく、理由や例示を加えて話すことができる。 ・ 他の生徒が話したことについて、感想を伝えることができる。
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	・ 既習の語句や表現、文法事項を活用して、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について 20～50 語程度の文章を書くことができる。 ・ 教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を書くことができる。 ・ 必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。 ・ ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、相手が書いた文章についての感想を書くことができる。 ・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。